

[D サイトマップ](#)[D KISSポート財団について](#)[D 港区コミュニティ情報誌「Kissポート」について](#)[D 品質・環境への取り組み](#)

検索するキーワードを入力

検索

[Kissポートからのお知らせ](#)[今月のおススメ!](#)[イベント情報・チケット情報](#)[サークル情報](#)[施設案内](#)[港区探訪](#)[ふれあいコラム](#)[連載コラム](#)[地域人](#)[Kissポートギャラリー](#)[T 文字サイズ](#)[大きい](#)[ふつう](#)[小さい](#)[HOME](#) > [地域人](#): NPO法人みなとラグビースクール 理事長・校長 黒崎 祐一さん

港区内で活躍している人をご紹介します!

[>> バックナンバー](#)

NPO法人みなとラグビースクール 理事長・校長

くろさき ゆういち

黒崎 祐一さん

ラグビーを通じて連帯感や責任感を教えたい



港区立青山小学校の人工芝の上で、元気にスクラムを組む子どもたち。その様子に目を細める黒崎祐一さんは、NPO法人「みなとラグビースクール」の理事長・校長です。明治大学付属中野中学校からラグビーを始めて、高校在学時に高校日本代表となり、明治大学ラグビー部でも活躍。卒業後も、明治大学ラグビー部シニアコーチとして、長年ラグビーに関わってきました。

スクールは、山手線内唯一のラグビースクールとして2010年に開校し、今年で3年目。当初30名だった子どもたちも今では150名に増えました。活動方針は、ラグビーを楽しむ、どんな時もきまりを守る、みんなの為に頑張る、最後まであきらめない、の4つ。黒崎さんはこれを通じて、子どもたちに連帯感や責任感も学んで欲しいと言います。「ラグビーはボールを前に投げられません。そのため、足が速い子だけが活躍するのではなく、互いの能力をフォローしあってチャンスを作っていく球技です。そんなラグビーを通じて学んだ生き方や仲間との絆は、大人になっても一生大切なものになるでしょう」。スクールの運営や子どもたちの指導には、理念に共感した大勢の人たちがボランティアで参加しています。コーチ時代の教え子や先輩たちの協力に、ラグビーを通じた絆を実感しているそうです。



練習ではなにより安全に配慮し、子どもたちが飽きないプログラムを組んでいます。都会の子どもたちは「普段は運動する機会が少ないせいか、大人しそうに見えるのに、ボールを持つと活発に走り回る子が多いですね」。

目標は、2019年のワールドカップで活躍する日本代表選手の育成。

今年から、2016年夏季オリンピックを目指すアカデミースクールも開校しました。火・木曜夜の活動も「都心のこの立地だから、一流プレイヤーが仕事帰りに指導に来てくれます」。のびのびと走り回る子どもたちの中から、ラグビー日本代表が育つのも楽しみです。

[▲このページのトップへ](#)

| [個人情報保護について \[PDF\]](#) | [サイトへのリンクについて](#) |


## Kissポート財団

(公益財団法人 港区スポーツふれあい文化健康財団)

港区赤坂4-18-13赤坂コミュニティーぶらざ

電話: 03-5770-6837/Fax: 03-5770-6884

お問い合わせ: fureai-info@kissport.or.jp

 [Kissポート財団について](#)



このホームページはKissポート財団の公式ホームページです。このホームページのすべての権利は当財団に帰属します。  
当財団の許可なく複製、転載は出来ません。